

(別紙)

平成 18 年度の新規採択一般プロジェクト一覧

課題名	参加国 (下線は代表者の所属国)	予算額 (US\$)
1. 熱帯河川における土地被覆、土地利用、気候変動影響下における土砂の動力学及び下流への関連 - タイにおいて	タイ、中国、インド、日本、ベトナム、 <u>米国</u>	40,000
2. データへのアクセス及び移転に関する国際統合アジアプロジェクト	中国、タイ、モンゴル、パキスタン、インド、ベトナム、 <u>バングラデシュ</u> 、 <u>インドネシア</u> 、 <u>フィリピン</u> 、 <u>日本</u>	45,000
3. パラオの地球変動に係る生態系と島嶼景観に関する能力開発と研究ニーズ	日本、フィジー、パラオ、サモア、 <u>米国</u>	42,000
4. 東アジア及び太平洋地域における環境変化及び熱帯沿岸域生態系への人間影響の管理のための総合的支援システム	フィジー、インドネシア、フィリピン、タイ、サモア、 <u>日本</u>	58,000
5. 東南アジア及び東アジア地域における沿岸域の総合的脆弱性評価	カンボジア、インドネシア、日本、マレーシア、タイ、ベトナム、 <u>フィリピン</u>	80,000
6. 東南アジアにおける気候変動への適応と持続可能性の結合	インドネシア、ベトナム、ラオス、 <u>フィリピン</u>	35,000
7. 南アジアにおける沿岸システムの管理強化のための科学・政策相互作用のための統合的枠組開発	バングラデシュ、インド、パキスタン、 <u>スリランカ</u>	65,000
8. 気候と作物病害のリスク管理:アジア太平洋地域における国際イニシアティブ	バングラデシュ、インド、カンボジア、 <u>米国</u> 、 <u>オーストラリア</u>	35,000
9. 東南アジアにおける都市 - 地方の大気汚染の大気質・気候への影響の解明	日本、ベトナム、 <u>タイ</u>	30,000
10. アジアの地球レベル水システムのホットスポットに関するワークショップ:巨大都市とダム	<u>中国</u>	25,000

平成 18 年度の CAPaBLE 新規採択プロジェクト一覧

課題名	提案国	予算額 (US\$)
1. 第 2 回若手研究者の地球変動会議	米国	50,000
2. 農業気候リスクと不確実性に対する国際ワークショップ	ニュージーランド	20,000
3. 地球システム科学パートナーシップ (ESSP) の地球環境変動科学会合へのアジア太平洋発展途上国の参加最大化	中国	25,000
4. 地球環境変動(水、貿易、環境)の組織的側面	タイ	20,000
5. 地球環境変動の組織的側面における合同会合	インドネシア	20,000
6. コミュニティーに根ざした組織による気候変動からの回復力強化/気候変動とその生物多様性に及ぼす影響	サモア/フィジー	40,000
7. 将来の研究アジェンダと能力開発ニーズ設計のための南アジア迅速評価事業スコーピングワークショップ	インド	20,000
8. メコン河流域における異なる植生、土地利用下の温室効果ガスとエアロゾルの排出	タイ	30,000
9. メコン河流域における持続可能性の統合分析	タイ	28,000
10. 後進途上国における能力開発の障壁除去:気候変動への脆弱性と適応の管理のための手法移転	スリランカ	30,000
11. インド-ガンジス平野をまたぐ、地球環境変化と食糧安全の相互影響への政策対応の改善	ネパール	60,000
12. 温帯北東アジアにおける水と食糧安全の統合評価モデルの開発及び可能な緩和策及び持続可能な開発機会の解析	中国	60,000
13. 東南アジアにおける米生産と水バランスに関する気候変動の影響、脆弱性、適応の評価	タイ	60,000